

新座キャンパス AV サポート

1. 概要

前年度同様、新座メディアセンター受付の「新座受付状況記録」から AV の分類に属する内容と、AV 担当常駐者の日報をあわせて 2017 年度の集計を行った。

2016 年からの新たな記録方法から 1 年を経たことで精度を増し、前年度との比較も可能となった。新座での機器利用は以前よりも多くなった感があり、実際に分析結果にもそれが表れた。

2. 利用状況

(1). AV 機器貸し出し状況

最も貸し出しが多かったのはノート PC で 104 件だったが、前年度よりは 35 件減少した。

次に貸し出しの多かった Mac 変換アダプタは、63 件増で 93 件だった。Mac の利用者が増えたのと、iPad 等 Apple 社製の製品の利用が多かったためである。その次に多い CD ラジカセはプレイメントテストや英語単位認定試験等のリスニングテストで使用した分である。ビデオカメラやワイヤレスマウスも昨年より増えて 40 件以上となった。こちらは新座でのイベントの録音録画や、新座から池袋への遠隔講義が増えたためである。これらを合わせると、前年度より 126 件貸し出しは増加した。

	プロジェクター	スクリーン	ノートPC	ビデオカメラ	三脚	BD/DVD	ICレコーダー	マイク	ラジカセ	ワイヤレスマウス	Mac変換アダプタ	ケーブル類	ヘッドフォン	webカメラ	合計
2015年	6	3	91	15	0	37	5	9	19	36	0	40	0	0	261
2016年	3	2	139	28	10	17	15	15	54	24	30	41	7	0	385
2017年	7	2	104	41	44	14	35	25	62	42	93	18	15	9	511
前年差	4	0	▲ 35	13	34	▲ 3	20	10	8	18	63	▲ 23	8	9	126
前年度比	233%	100%	75%	146%	440%	82%	233%	167%	115%	175%	310%	44%	214%	—	133%

表 1 : AV 機器貸出状況(機材別) 3 期比較

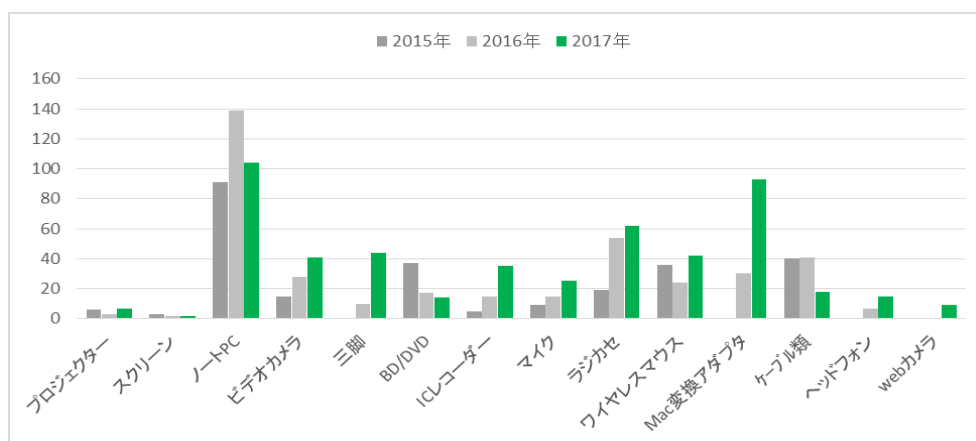


図 1 : AV 機器貸出状況(機材別) 3 期比較

(2). サポート状況

① 総合

トラブル以外のサポートが増加した結果、全体で138件の増加となった。

最も多かったのは設置で昨年より36件多い約330件、使用説明と操作ミスを加えると150件あまり多い約600件となった。一方機器のトラブルは前年よりやや減少したが、約240件でほとんど変わらなかった。

機器別では常設PC、プロジェクター、マイク、ブルーレイまたはDVDプレーヤーの順に多く、いずれのサポート内容でも上位に登場した。また、Macのサポートも、どの内容でも増加した。

	操作説明	設置	操作ミス	トラブル	合計
2015年	30	91	44	110	275
2016年	55	295	90	254	694
2017年	164	331	97	243	832
前年差	109	36	7	▲ 11	138
前年度比	298.2%	112.2%	107.8%	95.7%	119.9%

表2：サポート状況（3期比較）

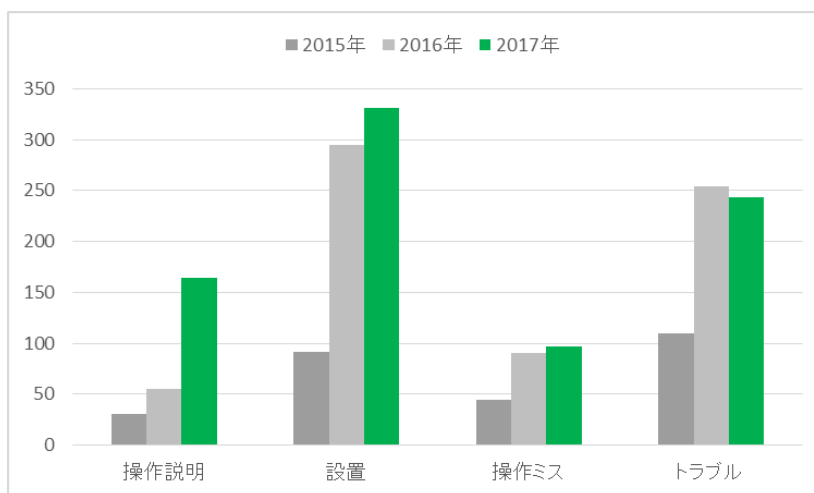


図2：サポート状況（3期比較）

② 月別

年間のサポートの傾向は例年通り、年度初めの4月5月が最も多く約120件、次いで10月、6月となった。授業のない2月、3月は入試のサポートと新年度の準備程度で、いずれも10件以下となっている。池袋に比べて授業外のサポートが少ないので、授業日と連動している。

	設置	説明	操作ミス	トラブル	その他	月合計	営業日	授業日	1日当たりのサポート数
4月	29	55	17	18	1	120	25	17	4.8
5月	40	20	20	39	0	119	27	26	4.4
6月	46	11	10	40	0	107	26	26	4.1
7月	24	10	11	19	0	64	26	16	2.5
8月	14	0	1	5	0	20	15	0	1.3
9月	19	8	6	20	0	53	22	10	2.4
10月	39	18	15	40	0	112	27	25	4.1
11月	40	24	10	22	0	96	25	18	3.8
12月	36	7	4	19	0	66	19	17	3.5
1月	34	6	4	13	0	57	21	14	2.7
2月	5	4	0	1	0	10	23	0	0.4
3月	5	0	0	3	0	8	26	0	0.3
合計	331	163	98	239	1	832	282	169	3.0

表3：サポート状況（月別）

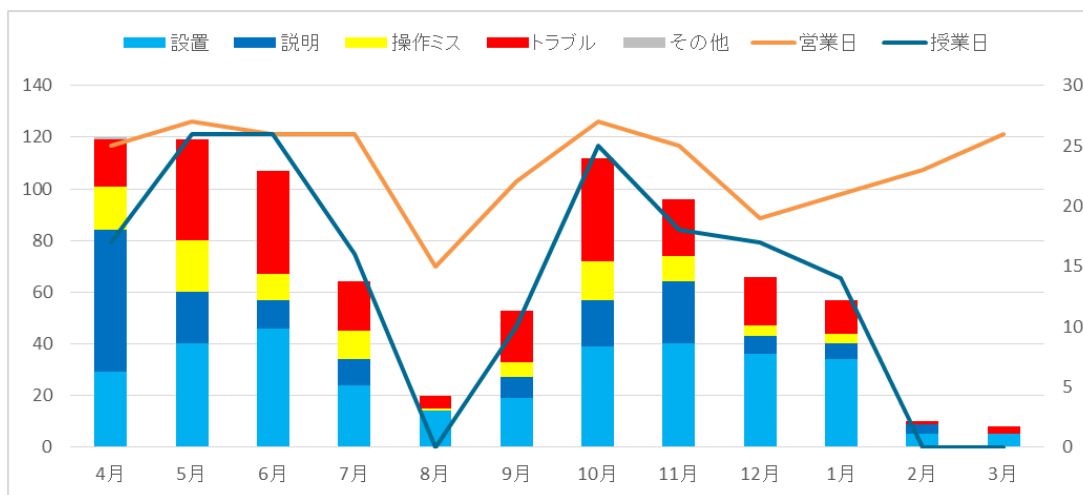


図3：サポート状況（月別）

③ AV タイプ

操作卓が最もサポート数が多く 370 件で全体の 4 割強を占める。次に会議室やチャペル、太刀川記念交流会館などの「その他のタイプ」のサポートとなっている。1 教室当たりでも操作卓は 20.6 件と多い。どの内容でも操作卓は多くを占めるが、操作ミスでは AV ワゴンのほうが多い。教室数のわりにトラブルが多いのはロフトである。特殊な構成に加え、経年劣化によるものと思われる。

AVタイプ	操作卓	AVワゴン	プラスマワゴン	教卓	PC	ロフト	その他のタイプ	合計
教室数	18	27	29	4	10	2	12	102
説明	59	43	10	1	18	6	27	164
1教室当たりの説明数	3.3	1.6	0.3	0.3	1.8	3.0	2.3	1.6
設置	170	45	8	4	7	6	91	331
1教室当たりの設置数	9.4	1.7	0.3	1.0	0.7	3.0	7.6	3.2
操作ミス	30	42	9	6	4	1	6	98
1教室当たりの操作ミス	1.7	1.6	0.3	1.5	0.4	0.5	0.5	1.0
トラブル	111	48	20	5	10	15	30	239
1教室当たりのトラブル	6.2	1.8	0.7	1.3	1.0	7.5	2.5	2.3
その他	0	1	0	0	0	0	0	1
1教室当たりのサポート	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
月合計	370	178	47	16	39	28	154	832
1教室当たりのサポート	20.6	6.6	1.6	4.0	3.9	14.0	12.8	8.2

表 4：サポート状況（内容別 AV タイプ比較）

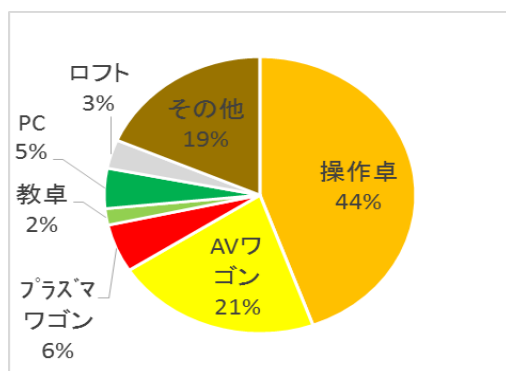


図 4：AV タイプ別サポート割合(総合)

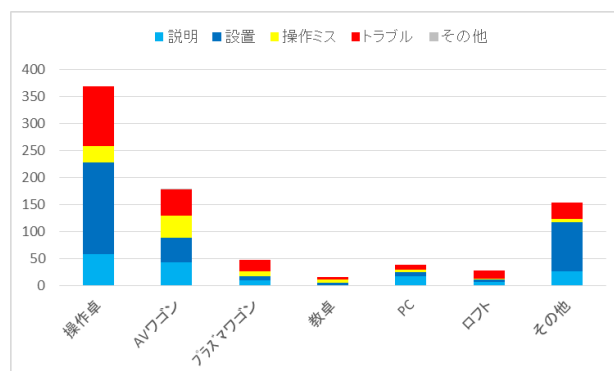


図 5：サポート状況（内容別 AV タイプ比較）

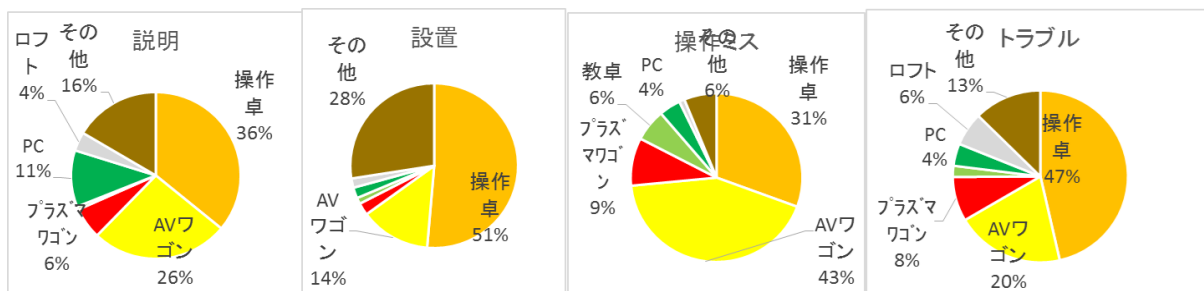


図 6：AV タイプ別サポート割合

④ 機材別

その他を除いては、常設 PC、プロジェクター、マイク、ブルーレイプレーヤーの順に多い。

内容別に見ると、設置では配信と TV 会議が 50 件以上、それとともにビデオカメラも 49 件に及ぶ。キャリアセンターや国際センターの他に、全カリ事務室や学生部等でも、池袋との中継を望まれることが増えたためである。ビデオカメラは他に、チャペルのオルガンコンサートの際に、オルガニストの手元を拡大して見せることにも使用した。

ブルーレイおよび DVD プレーヤーも使用説明と合わせると、60 件を超えた。

操作ミスでは AV ワゴンやプラズマディスプレイと常設 PC の接続で、起動順が逆のため投写できないミスが前年度に続き多かった。途中で、ノート PC に掲示を貼って、いくらかは緩和された。

トラブルではマイクを含む音響関係が多かった。

2017年	常設PC	持ち込みPC	Mac	BD DVD	書画カメラ	マイク	TV会議	ビデオカメラ	プロジェクター	ディスプレイ	Mediasite	配信	CD	操作卓	その他
使用説明	17	13	10	24	3	7	4	5	15	2	0	0	3	18	29
設置	36	22	10	37	6	42	50	49	44	1	10	56	15	20	44
ミス	40	8	9	11	4	4	1	3	25	8	1	0	2	1	4
トラブル	45	5	8	29	3	49	5	1	33	12	0	2	2	5	31
その他	3	2	0	2	0	3	2	0	4	0	0	0	0	0	2
合計	141	50	37	103	16	105	62	58	121	23	11	58	22	44	110

表 5：サポート状況(機器別)

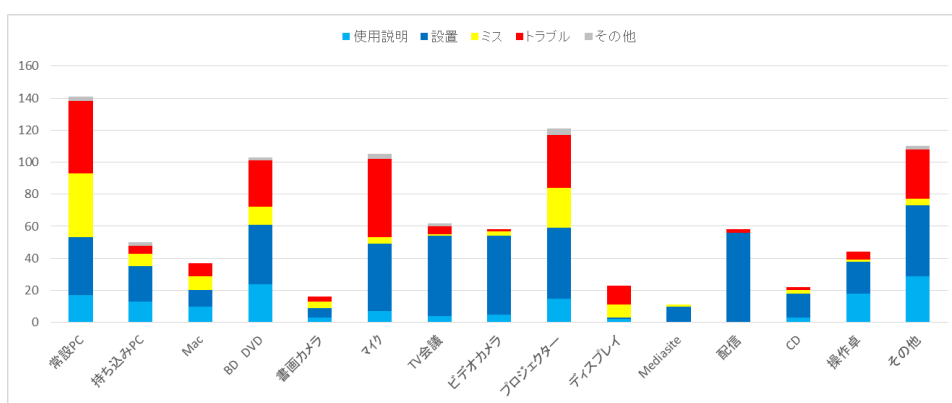


図 7：サポート状況(機器別)

	常設PC	持ち込みPC	Mac	BD DVD	書画カメラ	マイク	TV会議	ビデオカメラ	プロジェクター	ディスプレイ	Mediasite	配信	CD	スイッチャー・制御器	操作卓	その他
2015年	71	6	4	41	47	22	34	4	—	—	—	—	—	—	—	27
2016年	122	44	25	62	15	62	140	33	133	25	7	—	10	21	65	165
2017年	141	60	37	103	16	105	62	58	121	23	11	58	22	6	44	110
前年差	19	16	12	41	1	43	▲ 78	25	▲ 12	▲ 2	4	—	12	▲ 15	▲ 21	▲ 55
前年度比	116%	136%	148%	166%	107%	169%	44%	176%	91%	92%	157%	—	220%	29%	68%	67%

表6：サポート状況(機器別、3期比較)

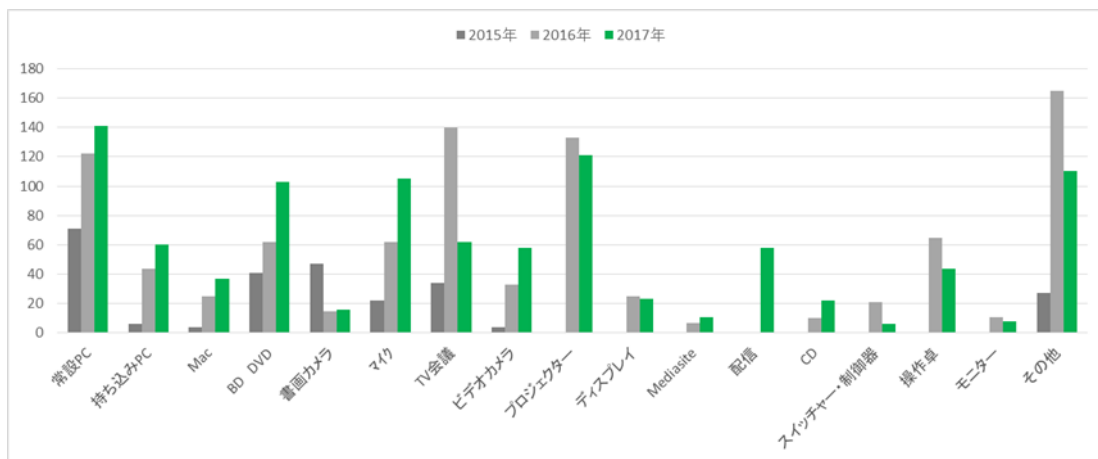


図8：サポート状況(機器別、3期比較)

使用説明			設置		ミス		トラブル		その他									
2016年	2017年		2016年	2017年	2016年	2017年	2016年	2017年	2016年	2017年								
操作卓	31	BD/DVD 24	TV会議	97	配信	56	プロジェクター(プラズマ)	48	マイク	49	プロジェクター(プラズマ)	41	プロジェクター	4				
常設PC	26	操作卓 18	ビデオカメラ	24	TV会議	50	プロジェクター(プラズマ)	17	プロジェクター	25	常設PC	11	常設PC	3				
プロジェクター(プラズマ)	3	常設PC 17	持込PC	22	ビデオカメラ	49	BD/DVD	11	BD/DVD	11	常設PC	26	プロジェクター	33	BD/DVD	8	マイク	3
マイク	8	プロジェクター 15	常設PC	21	プロジェクター	44	ディスプレイ	10	Mac	8	音響	22	BD/DVD	29	音響	7	持込PC	2
持込PC	7	持込PC 13	プロジェクター(プラズマ)	18	マイク	42	持込PC	4	持込PC	8	BD/DVD	20	ディスプレイ	12	ビデオカメラ	5	BD/DVD	2
BD/DVD	4	Mac 10	BD/DVD	18	BD/DVD	37	TV会議	3	ディスプレイ	8	スイッチャー・制御器	20	Mac	8	ディスプレイ	3	TV会議	2
書画カメラ	4	操作卓 8	操作卓	18	常設PC	36	書画カメラ	2	書画カメラ	4	操作卓	14	スイッチャー・制御器	6	Mac	4	AVLION	2
TV会議	3	マイク 7	マイク	16	持込PC	22	OD	2	マイク	4	TV会議	13	持込PC	5	Mediasite	1	モニター	1
モニター	3	CALL 5	Mac	8	操作卓	20	操作卓	2	ビデオカメラ	3	持込PC	11	TV会議	5	持込PC	0	貸出PC	0
Mac	2	ビデオカメラ 8	CD	7	OD	15	Mac	1	OD	2	Mac	5	操作卓	5	VHS	0	Mac	0
ビデオカメラ	2	TV会議 4	音響	7	Mac	10	スイッチャー・制御器	1	モニター	2	ディスプレイ	8	モニター	4	書画カメラ	0	書画カメラ	0
ディスプレイ	2	書画カメラ 3	Mediasite	8	Mediasite	10	音響	1	TV会議	1	モニター	7	書画カメラ	3	マイク	0	ビデオカメラ	0

表7：サポート状況(10件以上の機器、上位順前年度比較)

⑤ 使用説明、設置および操作ミス

前年度に比べてすべての内容で増加した。PC に関しては常設、持ち込み、貸し出し、Mac を合わせると、使用説明および設置の合計で 87 件から 117 件と 30 件の増加、操作ミスも含めると 130 件から 174 件と 44 件の増加となった。常設、持ち込み、Mac のどれもが増加したが、Mac は PC の他に、iPad 等の Apple 社の製品を持ち込まれることが増えたため、アダプタの貸し出しの増加と同様、接続のサポートも増えた。

また、2017 年度では池袋との配信や Mediasite による収録が増加した。それに伴いビデオカメラの設置も増えた。表 6 では TV 会議が 78 件の減少となっているが、2016 年度は配信もこれに含めているので、2017 年度の TV 会議と配信を合計すると 120 件で 20 件の減少となる。実際は遠隔講義を主とする配信が増加しているため、減少したのは TV 会議でのほうである。利用者が TV 会議の使用に慣れたものと思われる。一方遠隔講義や配信は、今年のキャリアセンターや国際センターはもとより、全カリや学生部の利用も増えた。池袋からの一方的な配信では視聴者がなかなか集まらないということで、新座が親となる配信も少しずつ増えている。この需要は年々高まっているものと思われる。

ブルーレイおよび DVD の再生サポートも前年度に比べて約 40 件増加した。

操作ミスではプロジェクターまたはプラズマディスプレイに常設のノート PC を投写する際、接続する前に起動すると投写できないという事象が 34 件のぼり、昨年を上回った。特に授業開始の 4 月及び 5 月上旬と、9 月下旬及び 10 月上旬の期間での発生が多かった。PC に掲示したが、なかなか浸透しない模様である。

⑥ 機器トラブル

全体では前年度より 11 件減少した。内容で最も多いのはリセットして再現しないトラブルで、昨年より 23 件減少した、とはいえ依然 72 件発生している。

機材で最も多かったのは b. と c. に述べるマイクの不具合であった。

- a. プロジェクターは 2016 年度まで続いた N852 教室の不具合がメーカー側の対応が完了することで解消した。それとともにスイッチャーの不具合も解消した。
- b. アカデミックホール、N421 教室、N431 教室はシステムの主電源起動後、音が出るようになるまで 1 分ほど要する仕様となっているが、1 分経過しても音が出ない現象が何度か発生した。毎回主電源リブートで解決するが、制御機 NI-3100 ハード系の不良であることが判明した。後日メーカーに修理を依頼した。今のところ、ファームウェアをアップデートした代替え

機を設置しているが、再発はしていない。

- c. N121 教室は部屋の構造に起因し、拡声音声が反響等で後部席の一部で聞こえづらいとのが、再三教員から指摘があった。2018 年夏に施設課の天井耐震工事を控えていることもあり、まずはマイク単体の交換を行った。これにより一部改善された。
- d. ロフト1は画面が消えたり砂嵐のようになりたりするエラーが発生した。HDMI 延長機を IMAGENICS 社製のものに替えてからは発生していない。
- e. アカデミックホールのカメラはガラスの窓のついたボックスに設置されていたが、このガラスに蛍光灯が反射して映りがよくなかった。そこで、窓ガラスそのものを撤去した。
- f. N213 教室、N214 教室および N215 教室は、後部席よりスクリーンを見ると、前席者の頭部の一部がかぶり見にくいという指摘が情報企画委員会に寄せられた。こちらはできるだけスクリーンを上方にあげて設置することで解決した。

	故障	紛失	接続変更調整	リセットで再現せず	電源・電池	破損・ケーブル断線	その他	トラブル
2015年	17	6	10	23	15	10	33	110
2016年	49	5	43	95	10	38	14	254
2017年	37	4	51	72	1	52	26	243
前年差	▲ 12	▲ 1	8	▲ 23	▲ 9	14	12	▲ 11
前年度比	75.5%	80.0%	118.6%	75.8%	10.0%	136.8%	185.7%	95.7%

表 8：トラブル(内容別、3 期比較)

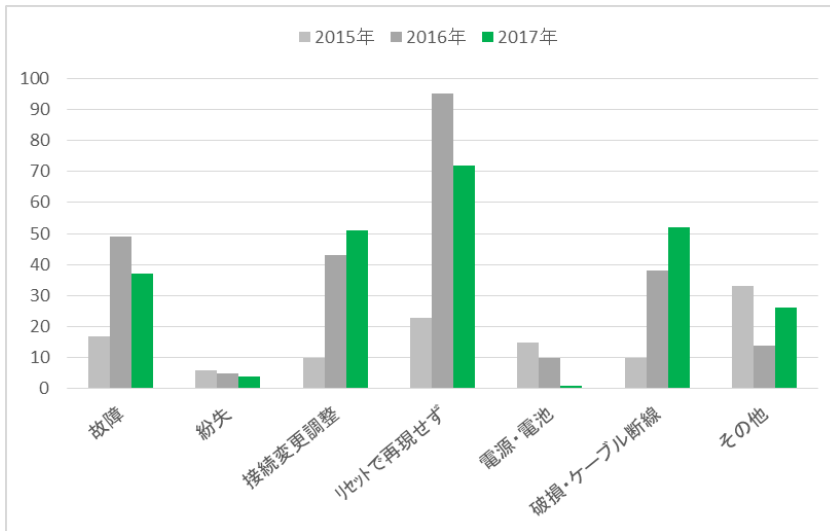


図9：トラブル(内容別、3期比較)

トラブル	プロジェクター(プラズマ)	常設PC	持込PC	Mac	BD DVD	マイク	TV会議	スイッチャ・制御器	操作卓	AVラック	ディスプレイ	その他
2016年	48	26	11	9	20	38	13	20	14	22	8	86
2017年	33	45	5	5	29	49	5	6	5	5	12	31

表9：トラブル(機器別、前年度比較)



図10：トラブル(機器別、前年度比較)

3. 2017 年度大学行事

2017 年度の主な大学行事のサポートは以下の通りである。

実施日	依頼者	目的	場所	内容
4月1日(土)	教務課	学生証交付	各教室	教室システム起動、OHC投影
4月1日(土)	全カリ事務室	プレイメントテスト(1年生)	各教室	CDラジカセライン接続
4月15日(土)	全カリ事務室	プレイメントテスト(2年生以上)	各教室	CDラジカセライン接続
5月27日(土)	総長室教学連携課	首都圏教育懇談会	N121	プロジェクター設置、AV機器操作
6月10日(土)	教務課	英語単位認定試験	各教室	リスニング用CD作成、CDラジカセライン接続
6月23日(土)	新座事務室	野球部感謝の会	フォレスト	マイク、プロジェクター、スクリーン設置、録画
7月29日(土)	教務課	中国語リスニングテスト	N311、N312、N8B1	マイク設営、CDラジカセライン接続
8月23日(水)、24日(木)	入学センター	オープンキャンパス	各教室	Mediasite収録、配信他
10月14日(土)	総長室教学連携課	首都圏教育懇談会	N121	プロジェクター設置、AV機器操作
11月3日(金)、4日(土)	学生部	IVF	各教室	機材貸出、利用支援
11月11日(土)	教務課	英語単位認定試験	各教室	リスニング用CD作成、CDラジカセライン接続
11月20日(月)	総務課	総長選演説会	N8B1	8101教室に遠隔講義、録画
12月2日(土)、9日(土)	全カリ事務室	英語力仲長度測定テスト	各教室	マイク設営、CDラジカセライン接続
12月9日(土)	総長室	池上彰講演会	N852	タッカーホールより配信
12月24日(月)	チャペル事務室	クリスマス・イブ礼拝	タッカーホール	マイク設営
1月13日(土)、14日(日)	入学センター	センター試験	各教室	待機
2月2日(金)	教務課	中国語リスニングテスト	N311、N312、N8B1	マイク設営、CDラジカセライン接続
2月6日～14日	入学センター、学生部	入学試験	各教室	待機

表 10 : 2017 年度主な大学行事サポート

4. 2017 年度まとめ

これまで池袋と新座は、教室管理をそれぞれが独自に行っていたが、2015 年度から統合管理するようになった。それにより、お互いの問題点がクローズアップしてきた。また共通点と相違点があり、それぞれサービスにつなげていくにはどうしたらよいか、総合的に考えられるようになってきた。

直近の課題は、同時期に改修された機器が多く、それらが年数を経て同じような障害がぽつぽつとあらわれはじめていることである。一斉に改修するわけにはいかないの
で、今後改めて改修計画を立て直す必要がある。

教員も新座池袋両方で授業されることで、リクエストも増えてきたように思われる。今後もニーズをくみ取りきめ細やかなサービスにつなげたい。